

「金沢市持続可能な観光振興推進計画2021骨子(案)」についての
パブリックコメントでのご意見と金沢市の考え方(回答)

募集期間：令和2年12月22日～令和3年1月20日

募集方法：メール、郵便、ファクシミリ又は直接担当課の窓口へ持参

意見：意見者数 10名 意見数 20件

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
計画全般		
1	観光はだれでも身近に感じることできるものですから、その施策もわかりやすい表現のものが良いと思います。	表現については、検討していきたいと考えています。
2	SDGs全般と観光をリンクさせた施策を期待します。	持続可能な開発目標(SDGs)は、観光分野においても重要な考え方であり、観光庁・UNWTO駐日事務所が発行した「日本版持続可能なガイドライン」へ配慮し、本市のSDGs未来都市計画と連動させながら、取り組んでいきたいと考えています。
3	「持続可能な」という言葉が実態を伴わない際に、これまで培ってきた「ほんもの」ブランドが棄損することを恐れております。「日本版持続可能なガイドライン」への配慮もご検討いただければと思います。	
4	「持続可能な観光」を目指す上で欠かせないのは持続可能性を担保するマネジメントやガバナンスを整えること、また、本計画の施策を遂行していく上で市民の意見をどのように吸い上げていくのか、そして、どのように意思決定の仕組みに反映していくのか、検討していく必要がある。	観光マネジメント体制の強化については重要であり、基本戦略4に記載し、市と金沢DMOが一体となって進めていきたいと考えています。 市民の意見の吸い上げと意思決定の反映については、検討してまいります。
5	高齢者や障害者の視点も視野にいたれた具体的な戦略が必要だと思えます。	貴重なご意見であり、関係課とも連携し、検討させていただきます。
基本的な考え方		
6	「ほんもの」を目指すことは大事なことですが、「来てほしい旅行者」と決めつける考えはいかがなものかと思えます。	「来てほしい旅行者」は、旅行者を選択、排除するものではなく、世界観光機関(UNWTO)の提案にもある「責任ある観光(レスポンシブル・ツーリズム)」を推奨するものとして記載しましたが、表現について、修正させていただきます。
7	『「ほんもの」を継承し、世界をひきつけるまち、ほんものへの感度が高い人々、金沢の文化や市民生活に敬意を払っていただけた人々を『来てほしい旅行者』と位置付け』という記載については、排他性を感じ、少	

	し表現を修正した方が良いのではないかと感じました。	
8	「ほんもの」という表現の仕方が少し排他的に感じ、もっと良い言葉があるのではないかと感じました。	金沢のまちが藩政期から培ってきた歴史、文化、風土を「ほんもの」として表現しており、表現については、検討してまいります。
基本戦略		
9	金沢の食文化を観光客だけではなく金沢市民にも体験できる施策が今後も必要であると考えられます。	貴重な意見であり、関係課とも連携し、取り組んでいきたいと考えています。
10	町なみや人の生活に触れたときの感動が旅の満足を得る。その点が旅の体験商品の造成の際のかなめであると思います。	貴重な意見であり、魅力あるコンテンツの磨き上げに取り組んでまいります。
11	文化的な景観や街の中の自然も観光資源として注目されることになる中、その保全や継承の関連団体や個人をどのような対象と役割を持った人たちと位置付け、意見をどのように汲み取っていくのか、検討いただきたいと思っています。	貴重な意見であり、関係課とも連携し、検討してまいります。
12	DMO内に「持続可能性」や「SDGs」を所轄し、ブランド管理やIRを担うとともに、観光資源の保全や継承を守る団体と対話する職務を設置するのはいかがでしょうか。	ブランド管理やIR等も含め、専門人材の育成は重要であり、市と金沢DMOが一体となって進めていきたいと考えています。
13	域内の観光産業への流入資金が市民に還元される資金循環の仕組みを明確に示した方が良いと思います。	市民の観光受容力を高めるためには、重要なことであり、取り組んでいきたいと考えています。
14	車椅子利用者が安全に観光するための事前情報がSNS等で得られれば良いと思います。 防災マニュアルなどホテル等に一時避難するとしたらバリアフリールームの有無など情報を一元化してすぐ得られるようにしてほしいです。	貴重なご意見であり、関係課とも連携し、検討させていただきます。
15	誰でもまちあるきを楽しめる環境づくりとして、観光施設や周辺道路のバリアフリー整備を進めてほしいです。	本市のノーマライゼーションプランと連動し、ユニバーサルデザインに配慮した受入環境の整備に取り組んでまいります。
16	「誰もが」、何日も、何度も来たくなるような町づくりにはユニバーサルデザインの専	

	門家が必要なのではないかと思います。	
17	初めて訪れるどんな人（高齢者、障害のある人、言葉の分からない外国人）でも視覚的、音声的、物質的なあらゆる配慮を徹底することは、金沢の魅力を非常に高めるものだと思います。	
18	観光施設はもちろんのこと、周辺道路のユニバーサルデザインに関する取り組みを具体的に進めていただきたいです。	
19	バリアフリー法や金沢市のノーマライゼーションプランといったものがベースになっている観光施策をたててほしい。	
計画の推進		
20	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で安心・安全な観光の提供のため、効果的なリスクマネジメント体制の構築を期待します。	庁内の各部署と連携し、観光施策のリスクマネジメント体制を整えてまいります。

(注) ご意見については、一部要約して記載しております。